
EARTH DEFENCE FORCES ～アルビオンウォー～

チョーク 4

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

EARTH DEFENCE FORCES
〜アルビオンウォー

【Nコード】

N6295H

【作者名】

チヨーク4

【あらすじ】

中東に警備隊の増援として派遣された、2個中隊は最新鋭の兵器とともに姿を消してしまう。増援として派遣された彼ら、神崎中隊とウォターズ中隊が迷い込んだ先は、魔法を操る貴族メイジが君臨する異世界ハルケギニアであった・・・伝説のあのお方も登場？

MISSIONO予感（前書き）

原作は呼んだことはありませんがタルプ会戦より少し後を予定しております。

駄文ですが目を通してもらえば幸いです。

MISSION 0 予感

地球防衛軍PKF中東派遣部隊の2中隊は車列を組んで走っていた。現在、新たに増援として中東にPKFとして派遣された神埼中隊とウォーターズ中隊は多数の戦闘車両とともに武装集団がいるかもしれないのどかな道を走っていた。

「・・・嫌な雲模様だな」

第1中隊隊長神崎俊少佐は渋い顔をさらにしかめて言った。

「そうっすよね。さっきのニュースじゃ晴れだといっていたのに今度は曇りだし・・・ここんとか異常気象が続いてますよね」

神崎の言葉に答えたのは助手席にいた御子柴賢治少尉だ。

「いつてもまあそれはべつにおかしな話でもなかった。」

2017年7月19日、突如として大船団を率いて襲来した異星生命体、通称『フォーリナー』は地球よりもはるかに先を進んだ軍事力でもって地球侵略を開始した。

もちろん、人類側もただ黙って殴られるだけの存在ではない。

連合地球防衛軍、通称『EDF』が中心となってフォーリナーとの戦争を開始した。

だが、人類側は会戦当初から劣勢を強いられた。

津波の如く陸上戦力を飲み込む巨大生物、海上戦力を埋め尽くすガンシップの群れ、戦車大隊をことごとく壊滅させた巨大ロボットの
大群。

そして、師団規模の戦力を一瞬にして壊滅させ、決戦要塞X3を圧倒的な火力で轟沈した星船。^{マザーシップ}

2018年6月22日、各地の司令部が次々と壊滅させられる中、唯一残った日本司令部は残された全ての戦力を結集させて、決戦の地である東京でマザーシップとの戦闘を開始し、マザーシップの破壊に成功した。

ちなみに、マザーシップを破壊したのは今や伝説の英雄とまで呼ば

れているコールサイン『ストーム1』と呼ばれる隊員が成し遂げたらしいが彼自身マザーシップの破壊と同時に姿を消している。

人類は勝った。

しかしここからが問題だった。

フォーリナーが地球に残した爪あとは大きく、オゾン層が破壊され、異常気象が多発したのだ。

あの戦いから10年たった現在でもこの問題が取り上げられている。まあ、それでもなんとか環境を会戦前の状態にまで回復することが出来たのはフォーリナーのテクノロジーのおかげでもあるのだが。他にも警察機構の壊滅により治安の悪化や孤児、食糧不足の問題などがあげられたが関係ないので割愛させてもらう。

以上、閑話休題。

「しかし、何でまた、我々EDFが中東に派遣されなきゃいけないんですかね」

「文句を言うな、平和維持活動こそが我々の役目なんだ」

まあ、そうですが。と御子柴はつぶやく。

今、神崎中隊とウォーターズ中隊、合計360名は政治機能がいまだに停止したままの中東に警備隊として派遣された、島一個大隊を支援する為に増援として出動したのであった。

彼ら二人が乗っている四輪駆動軽汎用車『HV252ブルドッグ』のフロントガラスからのぞく空は日も差さないぐらいによどんでいた。

二人が乗っているブルドッグは、アメリカ力軍で使用されている、ハンヴィーを改良した車両だ。

増援である2中隊はこれを4両装備していた。

二人が乗っているのは重機関銃を搭載したモデルである。

「嫌な予感がするな・・・」
空の雲模様を見て神崎はつぶやいた。

この時、神崎は気づかなかった。
自分達の時計が逆周りにしていることに・・・そしてそれが後の彼らの死出の旅への秒読みとは知らずに・・・。

それから2時間後・・・警備隊の駐屯地に緊急入電がはいった。基地から10キロ離れた地点の道路で2中隊が消息をたったのだ・・・
・・・彼らは消えたのだ・・・
・・・この地から・・・この世界から・・・

MISSIONO予感（後書き）

ご意見、ご感想をお待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6295h/>

EARTH DEFENCE FORCES ～アルビオンウォー～

2010年10月15日17時33分発行